



第1回

(2/18)開催終了

ふうせん潟リンピック



ちびっこ
大奮闘

大運動会に代わるものとして、第1回ふうせん潟リンピックが開催されました。今回は小中学生の皆さんからも競技のアイデアをたくさん出していただきました。区長、市議からも参加頂き大会を盛り上げてもらいました。進行役の中静さんのアナウンスに上手に乗せられ、各選手も熱が入り風船を使った競技に悪戦苦闘しながら楽しんでいました。参加者110名と多くの皆様から参加頂き地域の交流を深め親睦も図ることができ、来年に繋がる大会となりました。

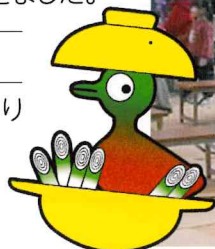
かもん! カモねぎまつり (12/3) 開催終了

恒例のかもんカモねぎまつりが開催され多くの来場者(1,300人)が訪れました。今回は昨年の反省を踏まえ、カモ汁が冷めないよう再度温め提供したことにより、例年以上に「おいしかったよ!」という多くの声を頂きました。

75%が村外購入者

カモ汁 (前売り券) 購入者分析より

- ・旧村内 25%
- ・西蒲区 (旧村内除) 25%
- ・その他 50%



西蒲区役所新庁舎整備説明会終了(1/18)



より広く理解を深めてもらうため、西蒲区役所から、説明頂きました。主な経緯を踏まえた上で、新潟市の公共施設の現状と課題・財政状況を考慮、現在地での建て替えが望ましいと等々の、説明を受けました。

令和6年度以降は、基本計画、実施設計を策定した後、適時工事に着手とのこと。

(令和12年度中には完成をめざす)

同日、自治連合会主催「意見交換会」実施

副区長を交えて各自治会長から様々な内容の意見、質問が出され情報交換等も行われ有意義な「意見交換会」となりました。

新春講演会・演題「東京の銭湯と西蒲原郡」に参加して

遠藤 小林 千恵子

吉田律人氏の講演会で初めて聞くアーキビストに興味をいだき参加しました。その中に旧潟東村出身の方が居られたことに驚きました。東京の銭湯経営者が潟東地域を含む旧西蒲原郡の村々から多く排出されていた地図を目にし驚きました。

その中に、亡き叔父も含まれていた事を思い出す機会にもなりました。講師吉田宅に残された1枚の家族写真から時代を探り、地元神社に残された玉垣、狛犬、石灯籠脇に刻まれた寄贈者名の中に女性の名前を発見したことを拝聴いたしました。当時の女性の地位を考慮すると相当の財力があつたと感じました。吉田講師に感謝とともに楽しい時間を得た1日となりました。



(*アーキビスト:公文書館などで調査研究にあたる専門職員)



休肝日

●潟東地域の世帯数と人口/世帯数1,683 人口計4,958 男2,437 女2,521 (令和6年1月末現在)



毎週月曜日は飲マNDER!!



青色防犯パトロール活動

防災・防犯・安全部会会長 水野 輝彦

令和6年は、元旦早々石川県能登半島地震が発生し、甚大な被害と多数の尊い命が奪われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

ところで皆さんは、青色防犯パトロールをご存知でしょうか。潟東地域の子供たちの見守りや高齢者の特殊詐欺未然防止を目的としてボランティア8名で、毎週火曜日午後3時頃潟東地域全域の広報活動を行っています。皆様も防犯、防災にご協力をお願いします。

西蒲警察署による講習会



かたひがし健康づくり教室

環境・福祉・保健部会長 石井 敏子



自分に合った運動習慣を見出すポイント「4色の運動」とは？令和5年12月9日（土）潟東地域コミュニティセンター小中ホールに開催された。冬に向かってどうしても運動不足になりがちな時期、定員いっぱい参加者が集まった。

講師の長岡造形大学非常勤講師 篠田浩子先生の号令で「赤＝持久力」「白＝筋力パワー」「青＝柔軟性」「緑＝神経－筋協応能」の「4色の体力要素の運動を適正にバランスよく実践することが大事」との講義と実技を指導いただき、心地よい汗と明日に向かう活力を得た2時間でした。



潟東文化への誘い

—もっと知りたい潟東の歴史・人・風土— 福田則男
 第十八回 仏教の研究者から大谷大学学長に就任された山辺習学



大正4年頃の山辺習学画像

京都の大谷大学学長に就任された山辺習学は、明治十五年十一月二十五日、横戸の坂井六造の二男として誕生されました。幼名は熊太郎でしたが、十七歳の時、村内にある長徳寺住職の遠藤智海師に見出され、名を習学と改めました。その後、大谷大学を卒業し、山形県楢岡町（現在の村山市）の正応寺を継いで山辺と改姓します。

優秀な成績で大谷大学研究科を修了し、大正四年（一九一五）からは東本願寺留学生としてセイロン（現在のスリランカ）とイギリスに赴き、仏教の研究に打ち込まれ、大正八年六月に帰国、大谷大学教授に着任されました。

さらに宗教教育事情視察のため、欧米と満州方面（現在の中国）を視察後、仏教の教化活動で執筆と講演にも専念されます。多くの著書があり、講演も当時としては珍しいラジオ放送を使って行われたといわれています。



頌徳碑(民俗資料館前)

昭和十八年（一九四三）十一月、推挙されて大谷大学第十二代学長に就任されます。しかし翌年ガンを患われ、九月十二日永眠、六十三歳でした。

昭和四十年（一九六五）八月、地元の人々は習学の遺徳を称え石碑を建立しました。碑には「三昧院講師頌徳碑（しょうとくひ）」と刻ま

れています。

寺院の生まれではなく、農家の生まれで仏教学者となったことについて習学は「愛する村が大きな働きをなしている」と述べられています。それは数百年来、私たちの祖先が伝えて来た雰囲気が高く、この伝統を大事にしていかなければならないと、寄稿文に記されているのです。

- ・山辺習学画像 大谷大学博物館所蔵
- ・参考資料「頌徳碑文」、「まち・むら・風土と人」巻町双書、「潟東村誌」

潟東中学校

10/25 講演会

演題「なりたい自分に向かって」

～アルビレックス新潟 早川史哉選手を迎えて～



早川史哉選手は、現役中に大きな病気を経験して、苦しい時期もあった中でも、夢に向かって再びサッカー選手として復帰し、活躍しています。

講演では、夢をもち挑戦する大切さをお話しされ、生徒に、勇気や希望を与えてくれました。

潟東小学校

「あいさつ運動」頑張っています！

年間を通して「あいさつ運動」をしています。学年ごとに企画を立てて楽しく取り組んでいます。



ご意見・ご要望もお待ちしております。

潟東地域コミュニティ協議会 TEL/FAX0256-86-3123

Eメール katacommu@honey.ocn.ne.jp

月曜・祝日休館

9:00～13:00までお電話繋がります。

《編集後記》 辰年の今年は元旦から震災に見舞われ、県内でも被害にあわれた方も多いと思います。被災された方には心よりお見舞いを申し上げます。令和5年度最後のかけ橋を発行することができました。計画しました事業はおかげ様で無事実施し、協力いただきました関係者の皆様には感謝申し上げます。令和6年度も引き続き事業に参加・支援・協力をお願いいたします。（坂井）